

対象校No. 1048
注4

学校コード F142310111210
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2

活水女子大学 国際文化学部 国際文化学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人活水学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総合企画室

職名・氏名

電話番号 095-820-6020 (内線: 375)

(夜間) 095-820-6020 (内線: 375)

e-mail plansec@kwassui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際文化学部

＜国際文化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人活水学院

(2) 大学名

活水女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒850-8515

長崎県長崎市東山手町1-50

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユグチ タカシ) 湯口 隆司 (令和4年2月)		
学長	(ヒロセ サトシ) 広瀬 訓 (令和5年4月)		
学部長	(クロキ カオリ) 黒木 香 (令和4年4月)	(ヨシダ ミネアキ) 吉田 峰明 (令和6年4月)	任期満了に伴う改選(6)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際文化学部 国際文化学科 学士(国際文化)	文学関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	新規入学者を募集停止予定	令和6年度から学生募集停止 ・ 国際文化学部英語学科 ・ 国際文化学部日本文化学科 ・ 音楽学部音楽学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-	-	0.61倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	118	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	118	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	117	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	43	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.61	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[0]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	43 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際文化学部 国際文化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	建学の精神	キリスト教学Ⅰ	1通	2								1	
		キリスト教学Ⅱ	2通	2								1	
		キリスト教学Ⅲ	3通	2			1						
		キリスト教学Ⅳ	4通	2								1	
	教養必修科目	教養セミナー キャリアデザインセミナー 情報処理基礎 データサイエンス入門 健康・スポーツ実技Ⅰ 健康・スポーツ実技Ⅱ	1前	1			1		1				3
			1後	1				1	1				3
			1前	2						1			
			1後	2					1				
			1後	1									1
			2前	1									1
	英語	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	1前	1			1	2					
			1後	1			1	2					
			2前	1			1	2					
			2後	1			1	2					
	教養教育科目	文化	日本の文化	1前		2		1					
			西洋の文化	1前		2		1					
			長崎の文化	1前		2		1					
			演奏の楽しみ	1後		2		1		1			
			音楽の世界	1前		2				1			
		社会	ジェンダーからみる社会	1後		2							1
			日本国憲法	1後		2		1					
			異文化理解演習	1後		2		1					
			現代社会と教育	1後		2							1
			現代社会と経済	1前		2				1			
		生活	心理学	1前		2							1
			生活と科学	1前		2							1
			食べ物と栄養	1前		2							1
			健康・スポーツ論	1前		2							1
		キャリア	SPI非言語分野対策演習	2後		2			1				
			キャリア形成講座	3後		2							1
			TOEIC対策講座	1前		2			1				
			インターンシップ	1前		2							1
		特別	特別講義	1前		2							1
			特別演習	1前		2							1
小計(34科目)			-	20	40	0	6	2	3	1	0	15	
専門教育科目	基盤科目	国際文化入門	1前		2		3	1	2				1
		異文化コミュニケーション論	1後		2								
		女性リーダーシップ論	2後		2			1					
		基礎セミナーⅠ	1前		2		1	2	1				
		基礎セミナーⅡ	1後		2		2	2					
		基礎セミナーⅢ	2前		2		1	2	1				
		基礎セミナーⅣ	2後		2		1	2	1				
		卒業研究	4通		6		1	2	3				
	外国語科目	中国語Ⅰ	1前		1								1
		中国語Ⅱ	1後		1								1
		中国語Ⅲ	2前		1								1
		中国語Ⅳ	2後		1								1
		韓国語Ⅰ	1前		1								1
		韓国語Ⅱ	1後		1								1
		韓国語Ⅲ	2前		1								1
		韓国語Ⅳ	2後		1								1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養教育科目	建学の精神	キリスト教学Ⅰ	1通	2								1		
		キリスト教学Ⅱ	2通	2								1		
		キリスト教学Ⅲ	3通	2			1							
		キリスト教学Ⅳ	4通	2								1		
	教養必修科目	教養セミナー キャリアデザインセミナー 情報処理基礎 データサイエンス入門 健康・スポーツ実技Ⅰ 健康・スポーツ実技Ⅱ	1前	1						1			5	
			1後	1					1				5	
			1前	2						1				
			1後	2					1					
			1後	1									1	
			2前	1									1	
	英語	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	1前	1							1		2	
			1後	1							1		2	
			2前	1				1	2					
			2後	1				1	2					
	教養教育科目	文化	日本の文化	1前		2								1
			西洋の文化	1前		2		1						
			長崎の文化	1前		2		1						
			演奏の楽しみ	1後		2		1		1				
			音楽の世界	1前		2				1				
		社会	ジェンダーからみる社会	1後		2								1
			日本国憲法	1後		2		1						
			異文化理解演習	1後		2		1						
			現代社会と教育	1後		2								1
			現代社会と経済	1前		2					1			
		生活	心理学	1前		2								1
			生活と科学	1前		2								1
			食べ物と栄養	1前		2								2
			健康・スポーツ論	1前		2								1
		キャリア	SPI非言語分野対策演習	2後		2			1					
			キャリア形成講座	3後		2								1
			TOEIC対策講座	1前		2			1					
			インターンシップ	1前		2								1
		特別	特別講義	1前		2								1
			特別演習	1前		2								1
小計(34科目)			-	20	40	0	6	2	5	0	0	22		
専門教育科目	基盤科目	国際文化入門	1前		2		3	1	2					
		異文化コミュニケーション論	1後		2								1	
		女性リーダーシップ論	2後		2			1						
		基礎セミナーⅠ	1前		2		1	2	1				1	
		基礎セミナーⅡ	1後		2		2	2						
		基礎セミナーⅢ	2前		2		1	2	1					
		基礎セミナーⅣ	2後		2		1	2	1					
		卒業研究	4通		6		1	2	3					
	外国語科目	中国語Ⅰ	1前		1								1	
		中国語Ⅱ	1後		1								1	
		中国語Ⅲ	2前		1								1	
		中国語Ⅳ	2後		1								1	
		韓国語Ⅰ	1前		1								1	
		韓国語Ⅱ	1後		1								1	
		韓国語Ⅲ	2前		1								1	
		韓国語Ⅳ	2後		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目 (コース共通科目)	国際文化系	多文化共生論	1前	2		1					
		文化と社会	1後	2		1					
		文化人類学	2前	2		1					
		アジアの文化	2後	2		1					
		グローバルスタディーズ	2前	2		1					
		Japanese Culture Studies I	2前	2			1				
		Japanese Culture Studies II	3前	2			1				
		英語圏の文化	2後	2		1					
		英米文学入門 I	1後	2		1					
		英米文学入門 II	2前	2		1					
	英米文学演習	2後	2		1						
	Comparative Cultural Studies	2後	2			1					
	国際キャリア系	英語とキャリア	1前	2			1				
		グローバル企業を知る	1後	2			1				
		English for Hospitality and Tourism	2前	2			1				
		国際コミュニケーション論	2前	2							1
		語学ボランティア演習	2後	2		1					
		Business English for Beginners	2後	2		1					
		Business Communication	3前	2				2			
		通訳ガイド演習 I	3前	2							1
		通訳ガイド演習 II	3後	2							1
		時事英語演習	3前	2			1				
	翻訳入門	3後	2			1					
	言語教育系	発音リズム法	1後	2		1					
		言語学入門	2前	2		1					1
		英語の発想と表現	2前	2							
		言語の意味と構造	2後	2		1					
		English Picture Book Studies	2後	2							1
		Multicultural Education and Support	3後	2							1
		Teaching English to Children I	3前	2							1
		Teaching English to Children II	3後	2							1
		Reading Activities I	4前	2							1
		Reading Activities II	4後	2							1
		英語科教育法 I	2前	2			1				
		英語科教育法 II	2後	2			1				
		英語科教育法 III	3前	2			1				
		英語科教育法 IV	3後	2			1				
	言語習得論	3前	2		1						
	日本語教育概論	1後	2		1						
日本語教育講義 I	2後	2				1					
日本語教育講義 II	3前	2		1							
日本語教育講義 III	3後	2					1				
日本語教育実習	3前	2		1							
日本語学系	日本語学概論	1前	2		1						
	日本語学講義 I	2前	2		1						
	日本語学講義 II	2後	2		1						
	日本語学講義 III	3後	2		1						
長崎学系	長崎史	1後	2		1						
	長崎文化学	2前	2		1						
	現代長崎学	2後	2		1						
音楽系	音楽理論基礎	1前	2		1						
	音楽表現 I	1前	2		2		2				
	音楽表現 II	1後	2		2		2				
	音楽史	2前	2				1				
	音楽メディア研究	2後	2				1				
	アートマネジメント論	3前	2				1				
ビジネス系	情報実務総論	1前	2					1			
	情報リテラシー	1後	2					1			
	政治学	1後	2		1						
	経済学	2前	2			1					
	キャリアデザイン実習 I	2前	2			1					
	エアライン・ホスピタリティ講座	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目 (コース共通科目)	国際文化系	多文化共生論	1前	2		1					
		文化と社会	1後	2		1					
		文化人類学	2前	2		1					
		アジアの文化	2後	2		1					
		グローバルスタディーズ	2前	2		1					
		Japanese Culture Studies I	2前	2			1				
		Japanese Culture Studies II	3前	2			1				
		英語圏の文化	2後	2		1					
		英米文学入門 I	1後	2		1					
		英米文学入門 II	2前	2		1					
	英米文学演習	2後	2		1						
	Comparative Cultural Studies	2後	2			1					
	国際キャリア系	英語とキャリア	1前	2			1				
		グローバル企業を知る	1後	2			1				
		English for Hospitality and Tourism	2前	2			1				
		国際コミュニケーション論	2前	2							1
		語学ボランティア演習	2後	2		1					
		Business English for Beginners	2後	2		1					
		Business Communication	3前	2				2			
		通訳ガイド演習 I	3前	2							1
		通訳ガイド演習 II	3後	2							1
		時事英語演習	3前	2			1				
	翻訳入門	3後	2			1					
	言語教育系	発音リズム法	1後	2		1					
		言語学入門	2前	2		1					1
		英語の発想と表現	2前	2							
		言語の意味と構造	2後	2		1					
		English Picture Book Studies	2後	2							1
		Multicultural Education and Support	3後	2							1
		Teaching English to Children I	3前	2							1
		Teaching English to Children II	3後	2							1
		Reading Activities I	4前	2							1
		Reading Activities II	4後	2							1
		英語科教育法 I	2前	2			1				
		英語科教育法 II	2後	2			1				
		英語科教育法 III	3前	2			1				
		英語科教育法 IV	3後	2			1				
	言語習得論	3前	2		1						
	日本語教育概論	1後	2		1						
日本語教育講義 I	2後	2				1					
日本語教育講義 II	3前	2		1							
日本語教育講義 III	3後	2					1				
日本語教育実習	3前	2		1							
日本語学系	日本語学概論	1前	2		1						
	日本語学講義 I	2前	2		1						
	日本語学講義 II	2後	2		1						
	日本語学講義 III	3後	2		1						
長崎学系	長崎史	1後	2		1						
	長崎文化学	2前	2		1						
	現代長崎学	2後	2		1						
音楽系	音楽理論基礎	1前	2		1						
	音楽表現 I	1前	2		2		2				
	音楽表現 II	1後	2		2		2				
	音楽史	2前	2				1				
	音楽メディア研究	2後	2				1				
	アートマネジメント論	3前	2				1				
ビジネス系	情報実務総論	1前	2					1			
	情報リテラシー	1後	2					1			
	政治学	1後	2		1						
	経済学	2前	2			1					
	キャリアデザイン実習 I	2前	2			1					
	エアライン・ホスピタリティ講座	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 (コース共通科目)	ビジネス系	広告論	2後	2			1					
	経営学	2後	2				1					
	民法	2後	2			1						
	地域・行政と法	3後	2			1						
	ビジネスコンピューティング	3後	2					1				
	地域マネジメント論	3後	2					1				
	海外ボランティア活動A	1前	2			1						
	海外ボランティア活動B	1前	2			1						
	海外インターンシップA	1前	2			1						
	海外インターンシップB	1前	2				1					
	外国人留学生対象科目	アカデミック・ジャパニーズ I a	1前	2				1				業
	アカデミック・ジャパニーズ I b	1前	2									業
	アカデミック・ジャパニーズ I c	1前	2			1						業
	アカデミック・ジャパニーズ II a	1後	2					1				業
	アカデミック・ジャパニーズ II b	1後	2									業
	アカデミック・ジャパニーズ II c	1後	2			1						業
	アカデミック・ジャパニーズ III a	1前	2						1			業
	アカデミック・ジャパニーズ III b	1前	2							1		業
	アカデミック・ジャパニーズ IV a	1後	2									業
アカデミック・ジャパニーズ IV b	1後	2									業	
小計 (98科目)		-	20	172	0	8	5	9	1	0	8	
専門教育科目 (コース専門科目)	英語コミュニケーションコース	Academic English I	1前	2				2				
	Academic English II	1後	2					2				
	Academic English III	2前	1					2				
	Academic English IV	2後	1					2				
	Academic English V	3前	1					2				
	Academic English VI	3後	1					2				
	Academic English VII	4前	1					2				
	Academic English VIII	4後	1					2				
	Paragraph Writing	1前	2					1				1
	English Media Literacy	1後	2					1				1
	Essay Writing	1後	2					1				1
	Academic Writing	3前	2					1				
	English Pronunciation	1前	2				1					1
	Advanced Reading I	3前	1			1	1					
	Advanced Reading II	3後	1			1	1					
	Advanced Reading III	4前	1			1	1					
	Advanced Reading IV	4後	1			1	1					
	英語コミュニケーション特講	3後	2			1						
	英語コミュニケーション専門セミナーⅠ	3前	2			1	1					
	英語コミュニケーション専門セミナーⅡ	3後	2			1	1					
	英語コミュニケーション専門セミナーⅢ	4前	2					2				
	英語コミュニケーション専門セミナーⅣ	4後	2					2				
	日本文化コース	日本の文化入門	1前	2		1	1					
	古典文学の概要を学ぶ	1前	2			1						
	現代文学の概要を学ぶ	1後	2				1					
	日本史の概要を学ぶⅠ	1前	2			1						
	日本史の概要を学ぶⅡ	1後	2			1						
	日本文学特論Ⅰ	3前	2				1					
	日本文学特論Ⅱ	3後	2				1					
日本文化史特論Ⅰ	3前	2			1							
日本文化史特論Ⅱ	3後	2			1							
コンテンツ創作	2前	2				1						
サブカルチャー論	2前	2									1	
メディアのための文章表現	2後	2									1	
日本文化のフィールドワーク	2前	2			1							
アナウンストレーニング	2後	2				1						
日本文化特論	3後	2				1						
カルチュラル・スタディーズⅠ	3前	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅡ	3後	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅢ	4前	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅣ	4後	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 (コース共通科目)	ビジネス系	広告論	2後	2			1					
	経営学	2後	2				1					
	民法	2後	2			1						
	地域・行政と法	3後	2			1						
	ビジネスコンピューティング	3後	2					1				
	地域マネジメント論	3後	2					1				
	海外ボランティア活動A	1前(後)	2			1						
	海外ボランティア活動B	1前(後)	2			1						
	海外インターンシップA	1前(後)	2			1						
	海外インターンシップB	1前(後)	2				1					
	外国人留学生対象科目	アカデミック・ジャパニーズ I a	1前	2				1				1
	アカデミック・ジャパニーズ I b	1前	2									1
	アカデミック・ジャパニーズ I c	1前	2				1					
	アカデミック・ジャパニーズ II a	1後	2					1				
	アカデミック・ジャパニーズ II b	1後	2									1
	アカデミック・ジャパニーズ II c	1後	2			1						
	アカデミック・ジャパニーズ III a	1前	2							1		1
	アカデミック・ジャパニーズ III b	1前	2							1		
	アカデミック・ジャパニーズ IV a	1後	2									1
アカデミック・ジャパニーズ IV b	1後	2									1	
小計 (98科目)		-	20	172	0	9	4	11	0	0	10	
専門教育科目 (コース専門科目)	英語コミュニケーションコース	Academic English I	1前	2				2				
	Academic English II	1後	2					2				
	Academic English III	2前	1					2				
	Academic English IV	2後	1					2				
	Academic English V	3前	1					2				
	Academic English VI	3後	1					2				
	Academic English VII	4前	1					2				
	Academic English VIII	4後	1					2				
	Paragraph Writing	1前	2					1				1
	English Media Literacy	1後	2					1				1
	Essay Writing	1後	2					1				1
	Academic Writing	3前	2					1				
	English Pronunciation	1前	2				1					
	Advanced Reading I	3前	1			1	1					
	Advanced Reading II	3後	1			1	1					
	Advanced Reading III	4前	1			1	1					
	Advanced Reading IV	4後	1			1	1					
	英語コミュニケーション特講	3後	2			1						
	英語コミュニケーション専門セミナーⅠ	3前	2			1	1					
	英語コミュニケーション専門セミナーⅡ	3後	2			1	1					
	英語コミュニケーション専門セミナーⅢ	4前	2					2				
	英語コミュニケーション専門セミナーⅣ	4後	2					2				
	日本文化コース	日本の文化入門	1前	2		1	1					1
	古典文学の概要を学ぶ	1前	2			1						
	現代文学の概要を学ぶ	1後	2				1					
	日本史の概要を学ぶⅠ	1前	2			1						
	日本史の概要を学ぶⅡ	1後	2			1						
	日本文学特論Ⅰ	3前	2				1					
	日本文学特論Ⅱ	3後	2				1					
日本文化史特論Ⅰ	3前	2			1							
日本文化史特論Ⅱ	3後	2			1							
コンテンツ創作	2前	2				1						
サブカルチャー論	2前	2									1	
メディアのための文章表現	2後	2									1	
日本文化のフィールドワーク	2前	2			1							
アナウンストレーニング	2後	2				1						
日本文化特論	3後	2				1						
カルチュラル・スタディーズⅠ	3前	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅡ	3後	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅢ	4前	2			1	1						
カルチュラル・スタディーズⅣ	4後	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 (コース専門科目)	マーケティング論	1前		2				1				
	マスコミュニケーション論	2前		2			1					
	簿記・会計論	2前		2							1	
	地域経済学	2後		2				1				
	ビジネスデータ分析	2後		2				1				
	観光学	3後		2							1	
	公共経営論	3後		2				1				
	女性起業論	3後		2			1					
	キャリアデザイン実習Ⅱ	3前		8			1	1				
	まちづくりプログラムⅠ	2前		2		1						
	まちづくりプログラムⅡ	2後		2		1						
	地域・ビジネス特講	3後		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅠ	3前		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅡ	3後		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅢ	4前		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅣ	4後		2			1	1				
	小計(57科目)		-	0	110	0	6	4	5	0	0	5
合計(189科目)		-	40	322	0	10	5	9	1	0	27	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目の必修科目から20単位、教養教育科目の選択科目から8単位以上、合計28単位以上を修得すること。専門教育科目の必修科目20単位、外国語科目4単位以上、選択科目72単位以上、合計96単位以上を修得すること。総合計124単位以上を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 (コース専門科目)	マーケティング論	1前		2								1
	マスコミュニケーション論	2前		2			1					
	簿記・会計論	2前		2								1
	地域経済学	2後		2				1				
	ビジネスデータ分析	2後		2				1				
	観光学	3後		2							1	
	公共経営論	3後		2				1				
	女性起業論	3後		2			1					
	キャリアデザイン実習Ⅱ	3前		8			1	1				
	まちづくりプログラムⅠ	2前		2		1						
	まちづくりプログラムⅡ	2後		2		1						
	地域・ビジネス特講	3後		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅠ	3前		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅡ	3後		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅢ	4前		2			1	1				
	地域・ビジネスセミナーⅣ	4後		2			1	1				
	小計(57科目)		-	0	110	0	7	3	5	0	0	8
合計(189科目)		-	40	322	0	11	4	10	0	0	36	
卒業要件及び履修方法												
教養教育科目の必修科目から20単位、教養教育科目の選択科目から8単位以上、合計28単位以上を修得すること。専門教育科目の必修科目20単位、外国語科目4単位以上、選択科目72単位以上、合計96単位以上を修得すること。総合計124単位以上を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・科目担当者の変更により、「教養セミナー」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼任3」から「講師1・兼任5」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「キャリアデザインセミナー」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・兼任3」から「講師1・兼任5」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「情報処理基礎」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授1・准教授2」から「講師1・兼任2」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1・准教授2」から「講師1・兼任2」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「日本の文化」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「食べ物と栄養」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「女性リーダーシップ論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2・講師1」から「准教授2・兼任1」に変更。
- ・科目担当者の昇格及び担当者変更により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授3」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「基礎セミナーⅢ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「基礎セミナーⅣ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「情報実務総論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「キャリアデザイン実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「エアライン・ホスピタリティ講座」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「広告論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「ビジネスコンピューティング」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・配当年次の見直しにより、「海外ボランティア活動A」、「海外ボランティア活動B」、「海外インターンシップA」、「海外インターンシップB」の配当年次を「1前」から「1前(後)」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「アカデミック・ジャパニーズⅠb」の専任教員等の配置を「業者」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「アカデミック・ジャパニーズⅡb」の専任教員等の配置を「業者」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「アカデミック・ジャパニーズⅢa」の専任教員等の配置を「業者」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「アカデミック・ジャパニーズⅣa」の専任教員等の配置を「業者」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「Paragraph Writing」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1・兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「Essay Writing」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1・兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「English Pronunciation」の専任教員等の配置を「准教授1・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「日本の文化入門」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・兼任1」に変更。
- ・科目担当者の変更により、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「マスコミュニケーション論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「女性起業論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「キャリアデザイン実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「地域・ビジネス特講」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「地域・ビジネスセミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「地域・ビジネスセミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「地域・ビジネスセミナーⅢ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・科目担当者の昇格により、「地域・ビジネスセミナーⅣ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	167 科目	0 科目	189 科目	22 科目 [0]	167 科目 [0]	0 科目 [0]	189 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{189} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	運動場（所要時間約60分・距離約30km） 長崎市脇岬町 借用面積： 10,299.00㎡ 借用期間：9年 大村市久原2丁目 借用面積： 9,530.72㎡ 借用期間：37年			
	校舎敷地	34,244.14㎡	0㎡	0㎡	34,244.14㎡				
	運動場用地	10,299.00㎡	0㎡	0㎡	10,299.00㎡				
	小 計	44,543.14㎡	0㎡	0㎡	44,543.14㎡				
	そ の 他	3,928.32㎡	0㎡	0㎡	3,928.32㎡				
	合 計	48,471.46㎡	0㎡	0㎡	48,471.46㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	30,734.05㎡ (30,734.05㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	30,734.05㎡ (30,734.05㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	49 室	18 室	91 室	4-5 室 (補助職員 2人)	1 室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際文化学科			25 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 305,935冊 〔68,000冊〕 学術雑誌 32,990種 〔32,990種〕 (うち電子ジャーナル) 31,000種 〔31,000種〕	
	国際文化学科	112,000 [40,800] (109,880 [40,680])	850 [300] (850 [300])	0 [0] (0 [0])	2,890 (2,830)				
	計	112,000 [40,800] (109,880 [40,680])	850 [300] (850 [300])	0 [0] (0 [0])	2,890 (2,830)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,927 ㎡		135 席		325,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,869.43 ㎡		弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含）を含む。
		教員1人当り研究費等	50千円	50千円	図書購入費	1,045千円 742千円	1,045千円 742千円	1,045千円 742千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	3,383千円 1,828千円	3,383千円 1,828千円	3,383千円 1,828千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,217千円 1,237千円	967千円 1,237千円	967千円 1,237千円	967千円 1,237千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入等の事業活動収入を充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		活水女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
国際文化学部	4	70	-	70	-	0.61	-	-	令和6	-					
国際文化学科	4	70	-	70	学士(国際文化)	0.61	-	-	令和6	長崎県長崎市東山手町1番50号					
英語学科	4	-	-	-	学士(英語)	-	-	-	昭和56	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
日本文化学科	4	-	-	-	学士(日本文化)	-	-	-	平成13	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
音楽学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成13	-					
音楽学科	4	-	-	-	学士(音楽)	-	-	-	平成13	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
健康生活学部	4	140	-	560	-	0.73	-	-	平成14	-					
食生活健康学科	4	60	-	240	学士(栄養学)	0.56	-	-	平成14	同上					
生活デザイン学科	4	35	-	140	学士(家政学)	1.00	-	-	平成16	同上					
子ども学科	4	45	-	180	学士(子ども教育学)	0.73	-	-	平成16	同上					
看護学部		75	-	300	-	0.87	-	-	平成21	-					
看護学科	4	75	-	300	学士(看護学)	0.87	-	-	平成21	長崎県大村市久原2丁目1246-3					
大学全体	4	285	-	930	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

(1) ー① 担当教員表

(1) ー② 担当教員表に関する変更内容

(掲載省略)

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
10	5	9	1	25	0	11	4	10	0	25	0
(5)	(2)	(3)	(0)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
11	5	10	0	26	0	11	5	10	0	26	0
[+1]	[0]	[+1]	[Δ1]	[+1]	[0]	[+1]	[0]	[+1]	[Δ1]	[+1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65(教授・准教授) 63(講師) 歳	0	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{26}{25} = \boxed{104} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{25} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和6年)	国際文化学部英語学科、日本文化学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	令和6年度より新たに国際文化学科を設置したため、当該2学科の学生の募集を停止した。(6)	履行済
届出時 (令和6年)	音楽学部音楽学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	入学者の減少により、入学定員の確保が困難となったため、令和6年度学生の募集を停止した。(6)	履行済
届出時 (令和6年)	健康生活学部食生活健康学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	収容定員充足率が0.56であり、入学定員の確保に努めているものの、未充足の状態にある。(6)	履行中 本学科での学びを通して「どのような管理栄養士になれるか」についてPRすることに注力する。 中間授業アンケートや学科FDにより内部質保証を行い、地域連携にも積極的に取り組むことで在学生在が充実感や成長実感を得て、将来像を明確化していく過程を支援し、学生の成長プロセスを学生募集の材料としていきたい。 外部への発信として、「もっと詳しい食生活健康学科の情報」のホームページや学科SNSの充実を図り、オープンキャンパスのライブ配信を行うことで学科での学びが見える化していく。また、入試選抜という入口の多様性や優遇をPRして年内の入学者確保を進めていく。(6)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際文化学部 国際文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 ・情報処理学習施設 5室	① 学生のPC必携化と設備の老朽化に伴い、 情報処理学習施設を4室へ変更

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【点検評価・質保証推進会議】</p> <p>内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織として「点検評価・質保証推進会議」を設置。目的は、自己点検・評価及び内部質保証並びに教学マネジメントの推進。教育研究活動等の改善及び向上を図るための、組織的な教員研修(以下「FD」という。)の実施。構成員は、学長、副学長、学部長、研究科長、宗教部長、教務部長、入試制度検討委員長、学生部長、学外・地域連携センター長、IRセンター長、その他学長が指名する者(2023(令和5)年度14名)。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023(令和5)年度の会議の開催は、計8回(4、5、7、8、9、11、1、2月)。 ・ 出席率は、88.3%(8回の平均)。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学基準に関する事項(基準1～基準9) (2) 基本方針に関する事項 (3) 内部質保証に関する事項 (4) 自己点検・評価に関する事項 (5) 外部評価に関する事項 (6) 認証評価に関する事項 (7) 教学マネジメントに関する事項 (8) FDに関する事項 (9) ティーチング・ポートフォリオに関する事項 (10) 授業評価アンケートに関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育方法についての研修会等 2) 国際文化学部FD研修会の実施、全学FD研修会への参加 3) ティーチング・ポートフォリオの実施 4) 授業評価アンケートの実施 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育方法についての研修会等 グッドレクチャー(授業評価において学生の評価が極めて高い)賞受賞教員によるFD「教育方法について」やICT教育研修会をオンライン又はオンデマンドにて実施 2) 国際文化学部FD研修会の実施、全学FD研修会への参加 学内外の講師による研修会の実施
--

3) ティーチング・ポートフォリオの作成 ワークショップ（3日間）の実施

4) 授業評価アンケートの実施 毎学期毎に学内WEBシステムで実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1) 教育方法についての研修会等 グッドレクチャー賞受賞教員によるFDやICT教育研修会を3月に実施
2023年度参加率は70.5%

2) 国際文化学部FD研修会の実施、全学FD研修会への参加 毎年度開催

3) ティーチングポートフォリオの実施 ティーチング・ポートフォリオのワークショップを8月に実施

4) 授業評価アンケートの実施 すべての教員を対象に、原則毎学期の授業最終日の1週間前後に実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート、FD、ティーチング・ポートフォリオの実施を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。具体的には、教員は、授業評価アンケートの結果について、改善等計画を付すことで、授業改善を図っている。また、授業評価アンケートの結果で学生の評価が極めて高かった教員（グッドレクチャー賞受賞者）によるFD「教育方法について」を実施し、授業改善の取組を行っている。さらに、ワークショップを通じたティーチング・ポートフォリオの作成により、教員の自己省察による教育力の向上を図っている。これらはそれぞれに関連しており、実際に、ティーチングポートフォリオを作成した教員がグッドレクチャー賞を受賞し、教育方法についてのFDを実施する例も見られ、学内の授業改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートを以下のとおり実施している。

実施時期：前期授業評価アンケート（授業の最終日の1週間前後）

後期授業評価アンケート（授業の最終日の1週間前後）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生は、自由記述を除いた授業評価アンケート結果を学内者向けのWEB上で閲覧することができる。
- ・授業評価アンケートの集計結果は、大学ホームページに公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

改組前の2学科（英語学科・日本文化学科）を統合することにより、従来2学科の学習内容をひとつの学科内で横断的に学べる体制が取れたことは、近年の学生が、専門的な学びとともに多様な学びを求めていることに対して功を奏すると考える。学科内で3つのコース（英語コミュニケーションコース、日本文化コース、地域・ビジネスコース）に分かれての学びは、2年次に進級する際にコースを確定することから（現時点では仮のコース所属状態である）、すでにコースを決めている学生が一定数いるものの、入学時点では決めかねている学生も一定数いることから、対外的なアピールにおいて功を奏すると考える。

2024年度入学者数が定員70名に対して43名と定員を割り込む結果となった。より一層の学生募集活動に注力し、設置の趣旨や目的を達成するために最善を尽くしていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2025（令和7）年5月

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・2029（令和11）年に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

活水女子大学点検評価・質保証推進会議規程

(設置)

第1条 本学に内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織として活水女子大学点検評価・質保証推進会議(以下、「推進会議」という。)を置く。

(目的)

第2条 推進会議は、自己点検・評価及び内部質保証並びに教学マネジメントを推進する。

2 推進会議は、教育研究活動等の改善及び向上を図るために、組織的な教員研修(以下「FD」という。)を実施する。

(構成)

第3条 推進会議は、次の各号に掲げる者によって構成される。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学部長
- (4) 研究科長
- (5) 宗教部長
- (6) 教務部長
- (7) 入試制度検討委員長
- (8) 学生部長
- (9) 学外・地域連携センター長
- (10) IRセンター長
- (11) その他学長が指名する者

2 議長は、学長とする。

3 議長は、推進会議を招集し主宰する。ただし、議長が不在の場合は、副学長が代理を務めるものとする。

4 推進会議は、原則として毎月1回開催する。ただし、議長が必要と認めるときは、臨時の推進会議を開くことができる。

5 議長は、必要に応じて構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

6 議長が必要と認められた者は、推進会議に陪席することができる。

(任期)

第4条 推進会議の構成員の任期は、それぞれの職の任期と同じ期間とする。

2 その他学長が指名する者の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(成立)

第5条 推進会議は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項)

第6条 推進会議は、次の事項における立案、実施、点検・評価、改善について審議する。ここでいう大学基準は、公益財団法人大学基準協会が行う大学評価の基準のことをいう。

- (1) 大学基準に関する事項(基準1～基準9)
- (2) 基本方針に関する事項
- (3) 内部質保証に関する事項
- (4) 自己点検・評価に関する事項
- (5) 外部評価に関する事項
- (6) 認証評価に関する事項
- (7) 教学マネジメントに関する事項
- (8) FDに関する事項
- (9) ティーチング・ポートフォリオに関する事項
- (10) 授業評価アンケートに関する事項

(報告)

第7条 推進会議は、自己点検・評価報告書(大学基準1～10)を作成し、理事会に提出する。

(事務)

第8条 推進会議の事務は、総合企画室の所管とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、推進会議の議を経て理事会が行う。

附 則 1

この規程は、2023年（令和5年）4月1日から施行する。